

みたか環境ひろば 第51号

平成 27年 4 月 1 日号



■環境講座「ナガミヒナゲシなど外来植物が在来植物に与える影響」の開催

1月17日、雑草学の大家、根本正之先生をお招きして三鷹市市民協働センターで環境講座を開催しました。近年、5月の連休が近づくとナガミヒナゲシが一斉に開花します。可愛らしいケシ科の花ですが、異常に繁殖力が強く、他の植物の生育を阻害するのではないかとという勢いです。この環境講座はナガミヒナゲシを知って広まらないようにしたいと、みたか環境活動推進会議の委員が企画しました。

根本先生から街中や土手の雑草社会の近況や、帰化植物が広がる現状の話の伺いながらナガミヒナゲシ駆除方法のヒントを学びました。

ナガミヒナゲシの種子はタンポポのような遠距離移動はできないのに、分布拡大しているのは、車のタイヤにくっつき運ばれているのではないかと考えられています。交差点の信号付近によくナガミヒナゲシの群落がみられるからです。また、場内を舗装していない駐車場ほど、ナガミヒナゲシの育成が顕著です。

1個体で種子が15万粒も散布するナガミヒナゲシの蔓延を防ぐには、花が咲く前のロゼット状態の時期に駆除するのが一番良い方法だとわかりました。

最後に根本先生は「ナガミヒナゲシの育成地を在来植物で置き換えよう」と提案されました。

それには三鷹市ではナガミヒナゲシがどんな広がりをしているのか、蕾の上がる連休中に調査し、花の咲く前に抜き取りをして、その跡地にカワラナデシコなどの在来種の苗を植え付ける。また、駅前緑地には在来種による「武蔵野のおもかげ」を演出し、5年後の東京オリンピック開催に向けて「おもてなし」の準備をしてはどうだろうかというものでした。

日本らしい自然を提唱する先生のお話しに感銘した講演会でした。(千野)



ナガミヒナゲシ



■三鷹通りの街路樹

いつも何気なく歩いている街路樹ですが、その効果として①景観向上（美しい並木道、目隠し）②生活環境保全（騒音の低減、大気の浄化）③緑陰形成（暑さの低減、雨・風を防ぐ）④自然環境保全（土壌の侵食を防ぐ）などが挙げられています。そこで三鷹通りの街路樹の種類を調べてみました。

三鷹駅南口から三鷹通りまでの約100mにはクスノキ（常緑樹）が植えられています。三鷹通りに出て南下するとケヤキ（落葉樹）、カツラ（落葉樹）が続き、八幡神社近辺からウバメガシ（常緑樹）が植えられ最後に東八通りまでソメイヨシノ（落葉樹）が続きます。

なお、市内には70万本強の街路樹が植えられ、そのベスト5はイチョウ、ハナミズキ、サクラ、トウカエデ、プラタナスだそうです（平成23年現在）。東八道路にはイチョウ、シラカシ、クスノキが多く見られます。また、かえで通りにはトウカエデが植えられています。

皆様も図鑑片手に街路樹を調べると通勤、買物、散歩が楽しくなることと思います。(片石)



クスノキ



ウバメガシ

■カエルと地球温暖化

「熱湯に飛び込んだカエルは危険を察知してすぐに逃げ出します。ですがそのカエルもぬるま湯に飛び込んでゆっくり熱せられると逃げません。じっとしてます」

2006年に製作されたドキュメンタリー映画『不都合な真実』の中で、元アメリカ副大統領アル・ゴアは、人々の地球温暖化への反応をそう例えます。

年々地球の気温は上がっており、海水温も上昇。これにより大型の台風や洪水、干ばつが増加。北極やグリーンランドの氷の面積は減る一方で、50年後には海面上昇により多くの都市が水没する…この衝撃的な話を、アル・ゴアは豊富な写真とデータで分かりやすく聴衆に語りかけます。そして、CO₂排出をなくすために私たちができることとして、省エネ家電を買う、エアコンの温度設定を変える、リサイクルを心がける、なるべく自家用車を使わない等を提案しています。

今では地球温暖化は広く認知され、エコ活動も盛んに行われていますが、アメリカではこの映画が公開されて初めて温暖化のことを知った人がたくさんいたそうです。冒頭のカエルは、気づいた頃にはぬるま湯が熱湯になって、自力では逃げられない状態になりました。地球温暖化はテロや大地震と違って緊急性や危険性を実感しにくいものですが、多くの人が環境に関心を持つことで、健やかな地球を維持できるのではないかと思います。

(上笹)

■「花壇ボランティア養成講座」に参加しませんか？

NPO法人花と緑のまち三鷹創造協会では、三鷹市内に花や緑を増やし、ボランティアのみなさんと協働で花壇の維持管理活動に携わっていただけるボランティアを養成するため、毎年、「花壇ボランティア養成講座」を開講しています。

この講座は、一年を通してガーデニングの基礎知識から花壇デザインや土づくり、植え付け、維持管理までを実際の花壇づくりを通して学べる全10回の連続講座で、毎年人気のある講座の一つとなっています。

平成26年度は第7期生23名がこの3月に講座を修了しました。講座修了後は、修了生のみなさんを中心に実習花壇となった「新川宿ふれあい通りポケットパーク花壇」のお手入れを引き続き行っていただくことになっています。

こうした花壇作りは、市内の様々な場所で取り組んでおり、公共花壇や学校前花壇など通る人々を癒すだけでなく、花や緑を通して出会う仲間と楽しく活動を行っていくことで、まちづくりや活き活きとした地域のネットワーク作りにつながっています。

次の第8期花壇ボランティア養成講座は平成27年5月より開催予定です。(詳細は三鷹市報「広報みたか4月5日号」に掲載予定) 講師は、楽しいトークで人気のある園芸研究家の香山三紀先生です。ご興味のある方はぜひお申し込み下さい！



環境掲示板

「エコアイデア」募集

「エコアイデア」とは環境に配慮した取組を言います。みなさんが行っている省エネ、節電、節水、リサイクル、生ゴミ対策、緑のカーテンなどを教えてください。こちらで記事にして掲載させていただきます。ただし紙面の都合で掲載できない場合もあります。

問合せ：環境政策課(内線2525)

「小さい手提げ」作り

日時：5月20日(水曜日)
午後1時から3時30分まで
場所：三鷹市リサイクル市民工房
内容：布製の小さい手提げを作ります。
対象：どなたでも
定員：8人(応募者多数の場合は抽選)
料金：無料
申込：詳細は、広報5月3日号をご確認ください。

問合せ：三鷹市リサイクル市民工房
0422-34-3196

編集後記

日々変化していく環境の中で、エコに関する日常のちょっとした気づきやご提案、活動等を、ニュースレター「みたか環境ひろば」を年4回ペースで発行し、ご紹介しています。環境という幅広いテーマの中、様々な立場や状況の違いこそありますが、行政がやるものだという先入観をとっ払って地域の住民が互いを思いやり主体的に粘り強く取り組むことがより良い環境を守っていけるものだと思います。実際、私も活動に参加するうちに自然と意識するようになり、他の方々のお話や取り組みを参考に自分自身にとってもより良い選択肢をみつけられることもあります。これからも皆様のご意見ご感想をお待ちしています。(入江)

次の発行は平成27年7月の予定です。

発行：みたか環境活動推進会議
(愛称 みんなの環境)

連絡先：三鷹市環境政策課
電話 0422-45-1151 内線2523・2524

E-mail:kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。